

イグザレルトを服用される 患者さんへ

—末梢動脈疾患(PAD)の治療について—



監修：福岡山王病院 病院長・循環器センター長
福岡国際医療福祉大学 教授

横井 宏佳 先生

目次

Q 末梢動脈疾患 (PAD)とは、どのような病気ですか?…	3
Q PADはどのように治療しますか? ……………	4
Q PADの薬物療法にはどのようなものがありますか? ……………	5
Q イグザレルトはどのようなお薬ですか? どのように服用するのですか? ……………	6
Q 飲み忘れたときはどうすればよいですか? ……………	7
Q イグザレルトを服用すると、どうなりますか? ……………	8
Q どのような出血が起こりますか? ① ……………	9
Q どのような出血が起こりますか? ② ……………	10
Q 出血したら、どうすればよいですか? ……………	11
Q 出血を避けるために心がけることは何ですか? ……	12
Q イグザレルトでは、他にどのような症状があらわれますか? ……………	13
Q イグザレルトの服用中、気を付けることはありますか? ……………	14
memo……………	15

Q 末梢動脈疾患 (PAD)とは、 どのような病気ですか？

A 足の冷感やしびれ、歩行困難(間欠性跛行)^{かんけつせいはいこう}を生じることがあります。病状が進行すると、安静時の痛みや腫れ、潰瘍や壊死^{かいよう えし}を足に生じることがあります。また、同じ動脈硬化を原因とする心筋梗塞や脳梗塞も起こりやすくなります。



足の冷感・
しびれ



歩行困難



足の痛み・
腫れ



足の潰瘍・
壊死



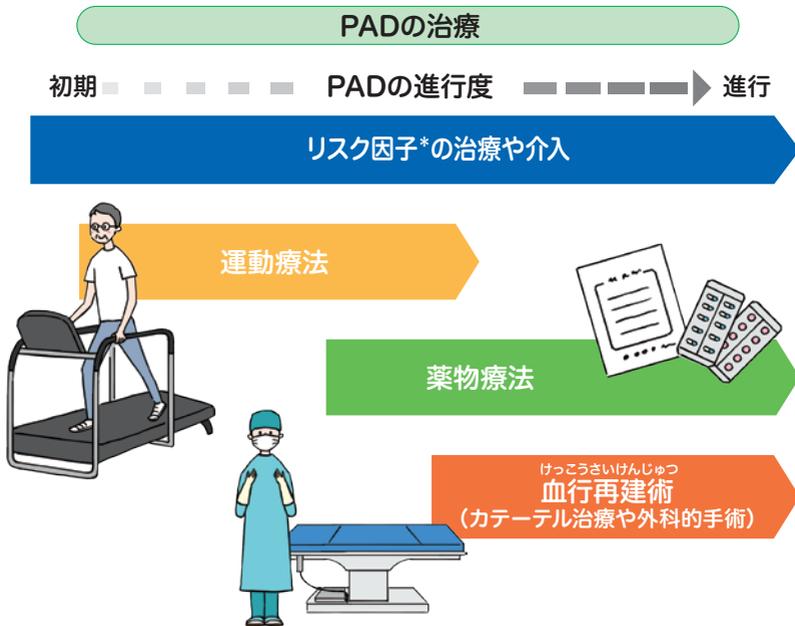
心筋梗塞



脳梗塞

Q PADはどのように治療しますか？

A まずは、PADが進行するリスクとなる因子の治療や、運動療法が行われますが、病状の進行度によっては、症状を改善するための薬物療法^他、血行再建術（カテーテル治療や外科的手術）などが行われます。



*PADの進行のリスク因子として次のようなものが知られています



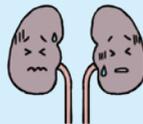
加齢



高血圧



糖尿病



腎疾患

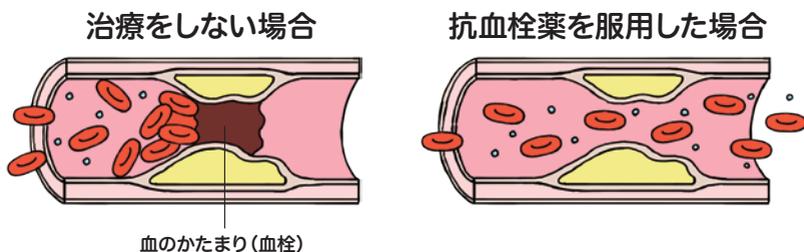


喫煙

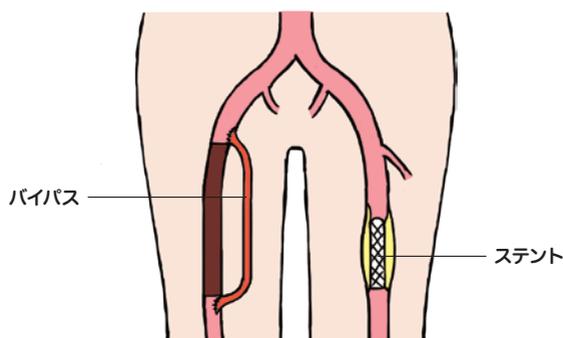
Q PADの薬物療法にはどのようなものがありますか？

A 多くの場合、血管の中で血栓ができるのを防いだり、血液を流れやすくするための治療として抗血小板薬を服用します。

特に血行再建術(カテーテル治療や外科的手術)の後は、血管に傷がついたり、異物が入ることで、血栓ができるリスクが高くなります。そのため、複数の抗血栓薬(抗血小板薬と抗凝固薬)を併用して、血栓を予防することがあります。



血行再建術



Q イグザレルトはどのようなお薬ですか？
どのように服用するのですか？

A イグザレルトは血を固まりにくくして、血管の中に新たに血栓ができるのを防ぐ「抗凝固薬」と呼ばれるお薬です。
血行再建術の後から、1日2回服用してください。

イグザレルトの服用方法

1回1錠 1日2回



朝



イグザレルト
2.5mg



夕



イグザレルト
2.5mg



アスピリン
(抗血小板薬)
81~100mg

イグザレルト服用中は、アスピリン(抗血小板薬)を併用します。

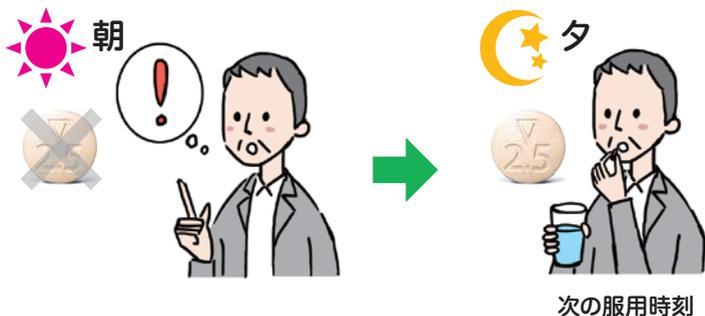
用法・用量及び服用期間については、
主治医の指示に従ってください。

Q 飲み忘れたときはどうすればよいですか？

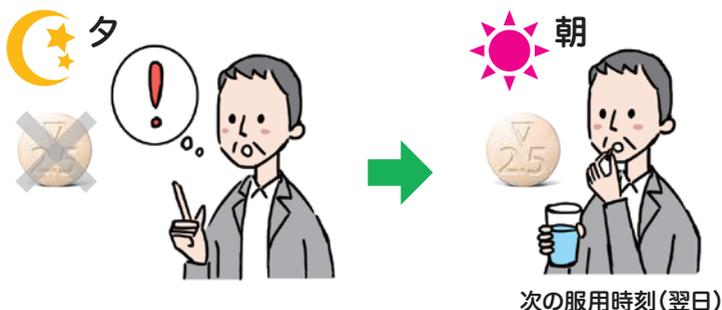
A 飲み忘れた分のお薬は服用せず、次の服用時刻から服用を再開してください。

飲み忘れに気付いたとき、飲み忘れた分は服用せず、次の服用を予定していた時刻に1回分を服用して、服用を再開してください。

朝に飲み忘れた場合



夕に飲み忘れた場合

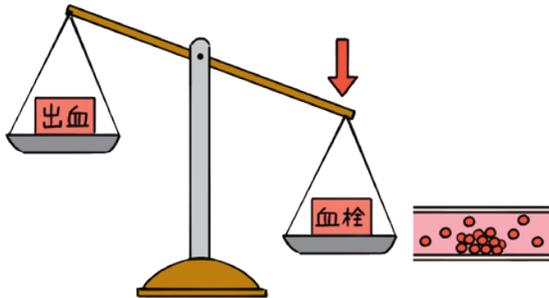


用法・用量及び服用期間については、
主治医の指示に従ってください。

Q イグザレルトを服用すると、どうなりますか？

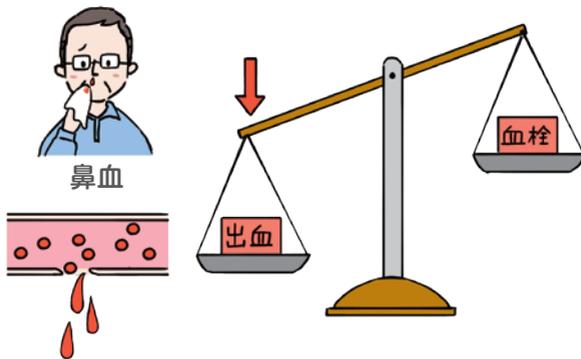
A 血が固まりにくくなる一方で、出血しやすくなります。

お薬を飲まない



抗凝固薬

お薬が効きすぎると



抗凝固薬を服用することで、「出血しやすい」、「血が止まりにくい」状態になります。

Q どのような出血が起こりますか？ ①

A 頭の中の出血や、お腹の中の出血など、
重大な出血が起こることがあります。

重大な出血時の主な症状



ひどい頭痛



血便・血尿



おしん
悪心(吐き気)・嘔吐

このような症状があらわれた場合には、
脳や内臓など、見えない部位で出血が起こっている
可能性があります。すぐに主治医に連絡してください。

Q どのような出血が起こりますか？ ②

A 歯ぐきや鼻からの出血、皮下出血（あおあざ）が起こりやすくなります。

よく起こる出血



歯ぐきからの出血



鼻血



皮下出血
(あおあざ)

これらの症状があらわれても、ご自身の判断で服用をやめたり、飲む回数を減らしたりしないでください。

Q 出血したら、どうすればよいですか？

A 出血が気になる場合は、すぐに主治医に連絡してください。



もし出血したら…家庭でできる止血対策

ケガなどによる出血のとき

グッと
10分間



タオルなどで
おさえる
(圧迫止血)

鼻血のとき

つまんで
5分間



うつぶいて
鼻をつまむ

Q 出血を避けるために心がけることは何ですか？

A 普段の生活の中で、
次の点に注意してください。



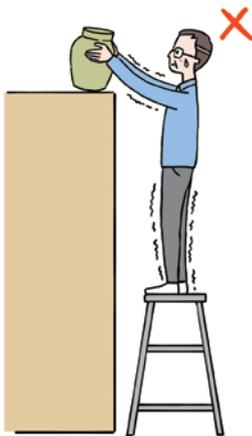
歯ブラシは
柔らかめを



ヒゲを剃るときは
電気カミソリを



鼻をかむときはやさしく



ケガのおそれがある作業や運動は、
なるべく避けましょう。

Q イグザレルトでは、他にどのような症状があらわれますか？

A 皮膚が黄色っぽくなる、息が切れる、尿の量が減るなどの症状が、まれにあらわれることがあります。

黄疸などの肝機能障害



間質性肺疾患



急性腎障害



このような症状があらわれた場合には、
すぐに主治医に連絡してください。

Q イグザレルトの服用中、
気を付けることはありますか？

A 次のようなことがある場合には、
必ず事前に相談してください。

- ① 他の医療機関で治療を受ける場合
- ② 歯の治療や内視鏡検査を受ける場合
- ③ 外科的手術を受ける場合
- ④ 他の医療機関で
他のお薬を処方された場合や
市販薬を購入する場合

また、他の医療機関で治療を受ける際は、
お薬手帳などを活用し、
抗凝固薬を服用中であることを伝えてください。

必ず
事前に伝えて
ください



主治医



他の医療機関

医療機関名

バイエル薬品株式会社



MA-XAR-JP-0506-18-12
資材記号 XAR262102